

夢の架け橋 (睦月) 第22号

皆さん
あけまして
おめでとうございませう
今年もよろしくお願ひします。

『氣』

昨年の一月は喪中とお伝えしましたが、月日が経つのは早いですね。父が亡くなって二度目のお正月を迎えます。昨年のような大災害が起きると、生きていることだけで感謝です。

新しい年を迎え、皆さんはどんな年にしたいと思っていますか？
些細なことでも目標を持って、実現に向け行動してみましよう。きっと何かが変わります。

今月のテーマは『氣』
あれ？と思われた方もみえるでしょうね。
『氣』ではなくあえて『氣』

私は本を読んで知ったのですが、「氣」に使われている「米」は命の源。
昔の人は、お腹の中に入れていたので元氣だったところから今は、「氣」に代わりお腹に込めた(閉めた)ため病気になる。

また一方では、「米」と言う字は八つの方向に線が伸びていて、八方へ出る。
『氣』というエネルギーを閉じ込めるのではなく、八方に出しましょう。

少し意識的にこの『氣』を使ってみてください。
『元氣』『勇氣』『根氣』『本氣』：なんだか力が湧いてきそうです。

絆の大切さを再確認した今だからこそ、祖先の知恵を受け継いで後世につないでいくことが、私たちの使命だと思います。



1月のギャラリー

1月1日(日)
～2月9日(木)

安井弘年 遺作展



展示予告

2月12日(日)～2月24日(金)

林ファミリー展(仮題) ※24日最終日は貸切ライブ

2月26日(日)～3月10日(土)

お雛様展 ※お雛様展で展示できる作品やグッズがありましたらお寄せ下さい。

予約席ライブの案内

杉ちゃん&鉄平 presents

ヴァイオリンとチェロとピアノの夕べ

出演：岡田鉄平 (Vn) 武井英哉 (VC) 杉浦哲郎 (Pf)



1年ぶりの
ピアノトリオコンサート!
『諏訪湖のヨーヨーマ』こと
武井英哉氏を迎え、
「おやすみクラシックス」の
曲を中心にお届けします!

2012年2月24日(金)
開演 19:00開場 18:30

チケット：前売 3,500円 当日 4,000円
※全席自由(35名限定)1ドリンク付き

募集

★パステル画教室
日程 1月23日(月) 10時～12時
費用 1000円(お茶付き)
*原則 第1、第3月曜日
絵に興味のある方は是非一度見に来てください。

★ステンドアート教室
日程 2月4日(土) 10時～12時
費用 2000円(お茶代含む) 材料費実費
*原則 第2土曜日、第3金曜日

★そば打ち講座(後期)
日程 1月15日(日) 2月19日(日) 3月20日(火・祝) 9時～11時半
費用 12,300円(受講料+3人前そば+プレゼント)
*後期からはじめる方も大歓迎です。
楽しみながらそば打ちを体験してください。
自分で打ったお蕎麦の味は格別です。



予約席...カレンダー1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

赤字の日はお休みになります

赤字の日は貸切

お知らせ

落楽会 落語会

1月22日(日)13:30 開場 14:00 開演
すいとびあ江南 大広間
木戸銭 500円(緑・緑子健)

ワクワクって湧く湧く
だから湧くワクしよう！

降り注ぐ雨を、森が飲み込み木を育て、
尽きることなく、水が湧いてくるのも、
その山が活着しているから、全てのものを活かしてくれます。

人も活着しているから、自分も周りも活かすのです。
今日自分が笑顔でいられたら、明日は誰かの笑顔と。
今日ちょっぴり楽しければ、明日はもうちょっと楽しく。
毎日コツコツ、楽しいことを自分で育てて、
自分らしさを見つけると、必ず明日が応えてくれる。
すると力が湧いて、勇気が生まれ、
自分を信じる、自信が湧いてくる。

明日からは、誰かに感心を持ち、
固い絆で手と手を結び、大きな輪へと繋いで行けば、
和みの世界が広がって、
明日も楽しみて、心がワクワクします！

ワクワクって、今まで感じたことのない、
熱い想いが湧いてくるから、湧くワクって言うのです。
湧くワクって、
頭で判断するのではなく、心が感じることなんです。

『今、
伝えたいことば
残したいことば』
康 光岐 著（風媒社）より

ひとり言

今年の干支は、エ〜っと

『辰』

干支の由来と縁起話を少し調べてみました。

『辰』云わずと知れた「竜」に由来していて、
縁起話は、

…【龍】伝説の生き物・龍は瑞祥と

言われ、古来中国では、権力者の

象徴として、扱われました。…

あと、特徴としては、

「正義感と信頼」

だそうです。

ほお〜



最近気づいた事ですが、人と話をしている
「干支は何ですか」なんて言っていることが
ちょいちょいあります。十代の頃なんかは
「ねえねえ、歳いくつ？」なんて平気で聞いて
いたものですが、何ですかね〜この変化は、
生まれた干支が五周り目に入る今年、少しは
分別が付いて来たかと理解しているのでしょうか？
ある人に言わせると、「歳を干支で聞くようにな
ったら年取った証拠」だそうです。